

発議案第 5 号

令和 6 年 9 月 1 9 日

紫波町議会

議長 武 田 平 八 殿

提出者 紫波町議会議員 阿 部 美佳子

賛成者 紫波町議会議員 浅 沼 有 朋

賛成者 紫波町議会議員 村 上 みさと

賛成者 紫波町議会議員 佐 藤 光 夫

賛成者 紫波町議会議員 橋 浦 栄 一

賛成者 紫波町議会議員 高 橋 敬 子

賛成者 紫波町議会議員 北 條 聡

賛成者 紫波町議会議員 細 川 久

賛成者 紫波町議会議員 及 川 ひとみ

安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第 1 3 条第 1 項及び第 2 項の規定により提出する。

安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書

新型コロナウイルス感染の拡大により、入院が必要にもかかわらず入院できない「医療崩壊」や、介護を受けたくても受けられない「介護崩壊」が現実となりました。これは、感染対策の遅れはもちろんのこと、他の先進諸国と比べても圧倒的に少ない医師や看護師、介護職員や保健師の不足が根本的な原因です。

日本医労連・全大経・自治労連で取り組んだ「2022年看護職員の労働実態調査」結果では、仕事を辞めたいと「いつも思う」と「ときどき思う」の合計は8割にものぼり、仕事を辞めたい理由（3つまで選択）では、「人手不足で仕事がきつい」6割、「賃金が安い」4割、「思うように休暇が取れない」3割、「夜勤がつらい」2割、「思うような看護ができず仕事の達成感がない」2割などと続きました。

毎年のように発生している自然災害時の対応や、新たな感染症に備えるためにも、平常時から、必要な人員体制の確保を国の責任で行い、対策の中心となる公立・公的病院や保健所の拡充など機能強化を強く求めます。そして国民誰もが安心して医療・介護を利用できるよう、保険料や一部負担金の負担軽減も必要です。安全・安心の医療・介護の実現のために、下記事項を要望します。

記

- 1 安全・安心の医療・介護を実現するため、医師・看護師・介護職員などの配置基準を抜本的に見直し、大幅に増員すること。また、安定した人員確保のためにも、ケア労働者の賃上げを支援すること。
- 2 医療や介護現場における「夜勤交替制労働」に関わる労働環境を抜本的に改善すること。
 - ①労働時間の上限規制や勤務間インターバル確保、夜勤回数の制限など、労働環境改善のための規制を設け、実効性を確保するための財政的支援を行うこと。
 - ②夜勤交替制労働者の週労働時間を短縮すること。
 - ③介護施設や有床診療所などで行われている「1人夜勤体制」をなくし、複数夜勤体制とすること。
- 3 新たな感染症や災害対策に備えるため、公立・公的病院を拡充・強化し、保健所の増設など公衆衛生体制を拡充すること。
- 4 患者・利用者の負担を軽減すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

令和6年9月19日

岩手県紫波町議会

（提出先）内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣